

(様式1-5)

自治体名 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和5年5月8日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	事業名	事業番号	
	いわきの魅力レベルアップ!「いわきツーリズム拡大事業」	A-2	
事業実施主体	いわき市	総交付対象事業費	59,934千円
既配分額	29,995千円	当該年度交付対象事業費	29,938千円
経費区分ごとの費用			
一 地域の魅力向上・発信事業①情報			
①情報発信事業 小計 29,938千円			
i) 風評動向調査 千円			
ii) 体験等企画実施 20,388千円			
iii) 情報発信コンテンツ作成 千円			
iv) ポータルサイト構築 9,550千円			
②外部人材活用 小計 千円			
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円			
ii) 地域の語り部の育成 千円			
二 関連施設の改修			
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円			
風評の払拭に関する目標			
○ 令和10年度までに震災前の観光客入込客数に近い水準まで回復させることを目標にしている。 本事業終了後の令和8年度には、コロナ禍前の平成31年度比16%増を目標に設定した。			
【参考】			
・ 震災前の観光客入込数 10,767千人(H22)			
・ コロナ禍前の観光客入込数 7,553千人(H31)			
・ 今年度事業後 8,157千人(R6): H31比8%増(昨年度申請時目標値)			
・ 本事業終了後 8,761千人(R8): H31比16%増			
9,969千人(R10): H31比32%増			
事業概要			
事業実施主体	いわき市		
主な企画内容	「動画マーケティング事業」(令和3年度)や「いわきツーリズム体感事業」(令和4年度)の調査分析結果を踏まえ、次の事業に取り組んでいく。 【事業1】パイロットプラン改善及び個人旅行向けコンテンツ造成伴走 昨年度実施したモニターツアーの結果から各コンテンツの効果検証を行い、改善を図るとともにツアーを商品化し、事業として自走できるよう、プランの実施事業者と連携しながらコンテンツの完成度を高めていく。 【事業2】個人周遊型モニターツアーの実施 事業1の内容を踏まえ、磨き上げた各コンテンツを体験できるモニターツアーを実施する。近年、団体旅行から個人型旅行へと旅行需要が変化している状況を踏まえ、タクシー等を利用した個人周遊型のツアーとして実施する。 【事業3】観光コンテンツチャレンジ 観光業界とは異なる業界(漁業や農業など)との連携により、新規コンテンツの造成を支援する。 【事業4】ポータルサイト構築		

	造成した観光コンテンツを掲載する他、本市の魅力を集約したポータルサイトを整備・構築し、情報発信に努める。
主な事業の実施場所	いわき市内
事業の実施期間	令和4年度～令和7年度
企画内容	
【現状・課題】	
<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市の観光入込客数について、東日本大震災前と比較し、新型コロナウイルス感染拡大前の平成30年において約75%にとどまっている。 ○ 現地の物販展等で実施した首都圏の方々への福島県に対する食の安全性を説明したうえで、どのように思うのかなど聞き取りしたが、依然として、福島県やその産品に対し、「危険・不安」といった声があり、震災の風評が払拭されていない。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ このような中、ALPS処理水の海洋放出の方針が決定されたことから、このことを契機として風評の再拡大が懸念されるところ、特に浜通り地域にある本市は他地域に比較して風評による影響が大きいことは容易に想像できる状況にある。 ○ このため、これまで以上に強力かつ効果的な風評払拭のための施策を展開することが喫緊の課題となっている。 	
【課題に対するこれまでの取組と成果】	
<p>① これまでの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度においては、訴求力のあるタレントを活用したPR動画の配信により、約67万回の動画視聴回数を得られた他、タレントSNSのフォロワー等からの動画への流入も比較的多く獲得できた。 また、動画視聴の分析結果について、地域においては、関東圏での視聴率が比較的高く、中でも隣県の茨城県や東京都、神奈川県において高い結果を得たことから、当初目的としていた首都圏への情報発信について、一定の効果があつた。 ○ 令和4年度においては、令和3年度のマーケティング調査により、本市への観光意向が比較的高い3つの層（旅好きファミリー、アクティブウーマン、ヤングトラベラー）を抽出し、各層の意向に応じた内容のモニターツアーを実施し、アンケート形式により、ツアーに対する意見等を聴取した。 また併せて、ツアー内容を深掘した魅力を発信するため、動画制作を基軸とした情報発信を実施。 動画に関しては、約49万回の動画視聴回数を獲得した他、モニターツアーに同行したインフルエンサーにツアー内容をSNS等へ投稿してもらうなど、多様なメディアを活用し、プロモーションを行ってきた。 <p>② 取組を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度実施したモニターツアーでは、3回実施の内2回が募集定員に満たない結果となり、集客時の情報発信の手法や曜日設定等について改善点を見出すことができた。 ○ 令和4年度に本市で実施したマーケティング調査によると、団体ツアーに対してネガティブな意見もあつた。観光庁における旅行調査では、近年、団体旅行の割合が年々低下しているという結果が示されており、本市においてもツアーの実施方法について更なる検討が必要である。 ○ 一方、本市で実施した同調査では、地元野菜や果物の収穫体験や釣り体験ツアーを希望する声も聞かれ、既存の観光資源の磨き上げを行うことに加え、新たな観光コンテンツの掘り起こしとその情報発信、魅力度の向上についても併せて進めていく必要が生じている。 <p>③ 本年度事業の対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで実施してきたマーケティング調査やモニターツアー等の結果、近年の旅行需要を踏まえ、昨年度造成したパイロットプランを評価・検証し改善を図るとともに、新たに個人周遊型のモニターツアーを実施し、コンテンツの磨き上げにつなげていく。 また、コンテンツの掘り起こしを目的として、観光業とは異なる業界（漁業、農業など）に協力いただき、新たなコンテンツの造成につなげていくことで、本市の魅力度の向上を目指す。 ○ さらに、これまで本事業のイメージを伝えるためのランディングページとして運用してきたWebページを整備・改修して本事業専用のポータルサイトへと拡充し、本事業に係る情報をワンストップで入手できるよう構築し、情報発信力の強化に努める。 	

【今年度事業における具体的な取組内容】

1 いわきツーリズムコンテンツ造成事業

○実施期間：R5. 7月～R6. 3月

○実施体制：いわき市・委託事業者

○概算費用：20,389千円

○具体的実施事項

令和4年度に造成したパイロットプランを検証しながら、近年、団体旅行が減少し、体験型コンテンツの需要が高まっているトレンドを踏まえ、個人周遊型で楽しんでいただけるようなモニターツアーを実施し、観光コンテンツの評価・検証を行う。

更に、既存の観光資源の磨き上げを進めるとともに、漁業や農業など観光業とは異なる業界と連携して新たなコンテンツの掘り起こしを行い、本市の魅力拡大につなげていく。

(1) パイロットプランの改善及び個人周遊型向けコンテンツ造成伴走

これまで実施してきたモニターツアーやアンケート調査の結果に基づき、引き続き「旅好きファミリー」や「アクティブウーマン」、「ヤングトラベラー」等をターゲットとした観光コンテンツの磨き上げを図るとともに、個人周遊型でも楽しんでいただけるように、パイロットプランを改善していく。

また、個人周遊型ツアーにも対応できるように、これまで実施してきたコンテンツ提供事業者（ビーチフラ体験、乗り捨てサイクリングなど）や新たにコンテンツの造成を希望する観光業者を対象とした説明会や現地での研修等を実施する他、個別訪問等によりコンテンツ考案・改善案の助言等を実施し、コンテンツの完成度を高めていく。

【実施期間】R5. 7月～8月 説明会の実施

8月～12月 コンテンツ改善・造成支援

【伴走対象】観光業者5社程度

(2) 個人周遊型モニターツアー

改善したパイロットプランを基に、様々な観光コンテンツなどを体験できるモニターツアーを実施するとともに、ツアー中に参加者と地域の観光事業者等との交流会を開催し、参加者の声を地域事業者が直接聞く機会を設け、今後のコンテンツの磨き上げにつなげる。

なお、ツアーの周遊方法については、近年の旅行トレンドを踏まえ、タクシーやレンタカーを活用した少人数向けのものとする。

【実施期間】R5. 8月～12月を予定

【実施回数】3回（1回につき小型タクシー10台、1台2名使用を想定）

【参加人数】60人程度（1回あたり20名程度）

(3) 観光コンテンツチャレンジ

新コンテンツの掘り起こしを目的として、観光業とは異なる業界（漁業、農業など）の方々に協力いただき、漁業体験や農産物の収穫体験など日々の仕事を体験プログラム化し提供する。新たなコンテンツの造成に向けて、観光業のノウハウを持たない地域事業者に寄り添い、伴走支援をしつつ連携を深める。

【実施期間】R5. 8月～12月を予定

【実施回数】3回

【参加人数】1～3組程度/回

【連携事業者】漁業、農業等事業者6事業者程度

2 ポータルサイト構築

○実施期間

・既存サイト検証：R5. 7月

・Webサイト要件定義：R5. 7月～8月

・Webサイト改修・保守・運用：R5. 8月～R6. 3月

○実施体制：いわき市・委託事業者

○概算費用：9,550千円

○具体的実施事項

昨年度まで、ランディングページとして、動画の閲覧者等へ本事業のイメージを伝えるために活用していたWebサイトについて、これまでモニターツアー等で実施してきた体験コンテンツや、今年度以降新たに造成する観光コンテンツを集約し、広く発信していくためのポータルサイトへ改修する。

このポータルサイトは、今後の拡張性を見据え、掲載コンテンツを運営する事業者がコンテンツ情報の掲載や更新などができるようなものとし、各事業者における情報発信の自走化につなげていくことを想定している。

【今年度事業における目標】

【アウトプット】

- 個人周遊型集客コンテンツの造成：5本
- モニターツアーの実施：3本以上
- 観光業とは異なる業界におけるコンテンツ造成：3本
- コンテンツなどを集約するポータルサイトの構築：1サイト

【アウトカム】

- ポータルサイトの公開を令和6年2月に予定しており、そこからの開始で20万PVを目指している。

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- これまで実施してきた事業について、近年の旅行需要に合わせ、改善を図ることで、各観光コンテンツをこれまで以上に持続可能なものとし、本市の観光資源の魅力をさらなる向上につなげていく。併せて、本事業専用のポータルサイトを構築し、情報発信力を強化することにより令和8年までに観光客入込数を8,761千人とする目標の達成に向け、観光入込客数のさらなる増加が期待できる

【次年度以降の取組】

- 今年度事業の効果検証を行い、各観光コンテンツの磨き上げを行うとともに、新たに発掘したコンテンツを事業として実施できるよう支援していく
- 国内の旅行会社、各種予約代行業者、オンライントラベルエージェントのような観光業界や、アクティビティサイトなど訴求効果の高いメディア向けに情報発信を行う（説明会、商談会、旅行商品販売促進のためのファミトリップ等）。
- 構築したポータルサイトへの掲載コンテンツの充実化を図り、多くの方々に見ていただけるようサイトへの誘導方法を工夫・改善し、見ていただいた観光コンテンツの予約導線までを確保できるよう各事業者と連携しながら、検討を進めていく。